

新2年生向け 履修手続きについて

2025.3.24 在学生ガイダンス資料
保育学部 杉浦 誠

1

2025年度 在学生ガイダンス【履修手続き全般について】

※改めて確認しましょう！

1. 履修登録において準備するもの

1) 学生便覧

学生便覧は大学生活を送る上でのさまざまな情報が載っている基礎資料です
※履修登録に関する情報も便覧に示されています

2) 履修登録を行うための環境（ネットに接続できるスマートフォン、パソコンなど）

常葉大学の履修登録は、スマートフォンやパソコンを使用してweb上（ポータルサイト）から行います

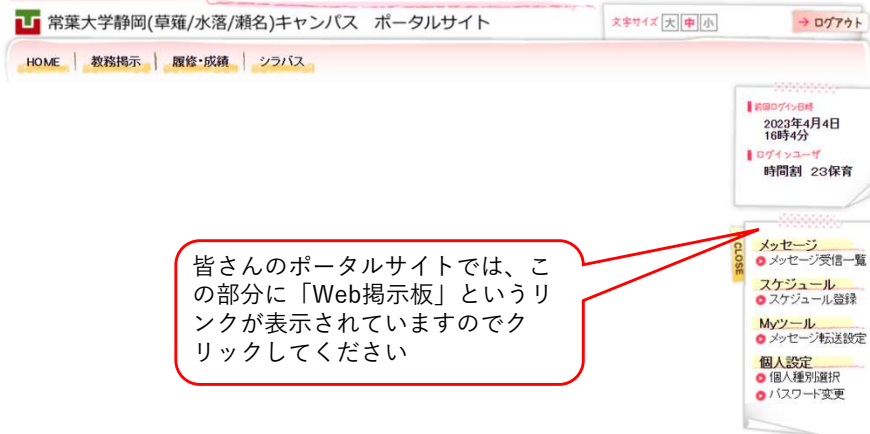
3) その他の情報（ポータルサイトを通じてさまざまな情報が提供されています）

※今回の履修登録に関してはポータルサイト上のWeb掲示板に掲示されている資料をよく確認してください

2

※Web掲示板について

Web掲示板の場所は以下を参照してください



Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2023

3

※令和7年度の時間割について



4

※Web掲示板上の大学共通フォルダ上の情報をよく確認してください



常葉大学 静岡C Web掲示板

常葉大学 静岡C Web掲示板



更新情報

<日付>

<日付>

0319_学生版_ポータルサイト操作方法.pdf

0319_学生版_常葉大学ウェブメール基本操作.pdf

0319_学生版_ポータル_office365_で学ぶための簡易マニュアル.pdf

0319_令和6年度抽選科目について.pdf

0319_令和6年度抽選科目一覧.pdf

0319_r6第二外国語_履修登録に関する注意事項.pdf

0319_履修届入力控.pdf

5

※同様にWeb掲示板上の各学年のフォルダの情報もよく確認してください



常葉大学 静岡C Web掲示板

常葉大学 静岡C Web掲示板



本日説明する時間割のモデルもここで配付をしています。

保育学部 2年用

0318_保育学部2年以上_体育実技b_を履修希望学生の方へのお知らせ.pdf

6

※「時間割のモデル」について

2年生前期（Aクラス用）

表記説明：卒業必修 資格必修 資格選択必修 選択科目

※この表はあくまでもモデルとして紹介するものです。この表の通りの履修方法では卒業や免許・資格が取得できない場合があります（履修登録は、各自の責任で行ってください）。

※全授業をオンライン（オンデマンド）で実施する科目については、時間割に組み込まれていません。

月	火	水	木	金
1	教育・保育課程論	子どもと健康	教育原理	社会的養護Ⅰ
	山本	今村	桑田	山屋
2	教育心理学（幼稚園）	子ども家庭福祉		子どもと音楽表現
	山本	山屋		佐野
3	【通】障害児保育	【通】保育実習指導Ⅰ（保育所）	【通】保育実践演習	【通】幼児のためのピアノ奏法Ⅱ
	赤塚	徳永・他	各教員	石田
4	保育内容総論Ⅰ	保育内容（人間関係）	【通】子どもの食と栄養	英語コミュニケーションⅢ
	桑田・買來	伊藤	増田	
5		山本Ⅱ【ADP】（選択）		キャリア開発論Ⅱ
		馬見塚		渡田野
集中				

2年生後期（Aクラス用）

○学部で特に履修を推奨する科目（必ず履修する） ※要別途確認

※この表はあくまでもモデルとして紹介するものです。この表の通りの履修方法では卒業や免許・資格が取得できない場合があります（履修登録は、各自の責任で行ってください）。

月	火	水	木	金
1	保育内容（健康）	子どもの発達論	子ども家庭支援の心理学	
	川島	村上	村上	石山
2	子どもの理解と援助	【通】保育実習指導Ⅰ（保育所）	保育者論	乳児保育演習
	山本	徳永・他	徳永	目黒
3	【通】障害児保育	保育内容（言葉）	【通】保育実践演習	【通】幼児のためのピアノ奏法Ⅱ
	赤塚	馬見塚	各教員	平野
4	保育内容（音楽表現）	保育内容（環境）	【通】子どもの食と栄養	英語コミュニケーションⅣ
	佐野	遠藤	増田・山本正	
5		山本Ⅱ【ADP】（選択）		
		馬見塚		
集中				

この時間割はあくまでもモデルです。
履修登録は自己責任で行ってください。

7

2. 履修登録のポイント

（1）履修登録とは

高校と違い大学では時間割を自分で作成します

一つ一つの科目を選択して登録する（履修登録）を行う必要があります

※【注意】履修の方法や内容は「自由」ですが、すべて「自己責任」となります！！

（2）全学共通科目・専門教育科目の性質と履修登録時の問い合わせ先について

【全学共通科目】

保育学部だけでなく、大学全体の学生向けに開講されている科目です

※卒業するためには全学共通科目から**20単位以上**を取得する必要があります

※全学共通科目についての質問は、「教務課」にお願いします

【専門教育科目】

保育学部の学生向けに開講されている保育学部独自の専門的科目です

※卒業するためには専門教育科目から**104単位以上**を取得する必要があります

※専門教育科目についての質問は、「保育実践演習・ゼミの担当教員」などに問い合わせてください

8

(3) 履修する科目の優先順位

◎一般的に、大学の科目の履修は次の優先順位に基づいて行います

①卒業必修科目	必修科目は1つでも取りこぼすと卒業ができなくなります
②資格必修科目	免許・資格取得のために取りこぼしが許されない科目です
③選択必修科目 (資格選択必須科目)	卒業や免許・資格取得の要件を満たすために指定された科目群からいくつかを必ず取得(選択必修)する必要がある科目(次のスライドで説明)
④選択科目	卒業要件を満たすため、また、自身の興味や関心に応じて自由に選択する科目

※上記の要件に基づいて、履修登録のモデルとなる時間割をweb掲示板に配信しています

(※配布した時間割はあくまでもモデルです。履修登録は各自、確認をしながら自分の責任で行ってください。)

9

③の選択必修科目について(2年生向け) (1) 教育課程表の記載(学生便覧より)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態		免許 必要単位	保育 士	備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験	
育 科 目	ゼミナールⅠ	3 半期	1				○		
	ゼミナールⅡ	3 半期	1				○		
	ゼミナールⅢ	4 半期	1				○		
	ゼミナールⅣ	4 半期	1				○		
	社会保障論	3 半期		2		○			△ △印科目より12単位以上を選択必修
	社会保障制度	4 半期		2		○			
	子どもの発達論	2 半期		2		○			△
	特別なニーズ教育の基礎と方法	3 半期		2		○		◎	◎
	特別支援教育総論	4 半期		2		○		◎	△
	特別支援教育各論	4 半期		2		○		◎	△
	幼児教育評価論	3 半期		2		○		◎	△
	教育・保育課程論	2 半期		2		○		◎	◎
	幼児理解及び教育相談の理論と方法	4 半期		2		○		◎	△
	保育環境論	4 半期		2		○			△
	障害児の支援の方法	1 半期		2		○			△
	幼児のためのピアノ奏法Ⅰ	1 通年		2			○		
	幼児のためのピアノ奏法Ⅱ	2 通年		2			○		
	幼児のためのピアノ奏法Ⅲ	3 半期		1			○		
	幼児のためのピアノ奏法Ⅳ	4 半期		1			○		
	保育者のための音楽	3 半期		2		○			△
	幼児のための伝承音楽	1 半期		1		○			
	保育実習Ⅱ	4 半期		2			○		○ } 保育士はこれら2科目より1科目選択必修
	保育実習Ⅲ	4 半期		2			○		○ }
	保育実習指導Ⅱ	4 半期		1		○			○ 保育実習Ⅱ履修者必修
	保育実習指導Ⅲ	4 半期		1		○			○ 保育実習Ⅲ履修者必修

保育士資格を取得するためには、△印がついている科目を12単位以上を必ず取得(選択必修)しなければ保育士資格が取得できないことを示しています。

保育士資格を取得するためには、どちらかを必ず取得しなければなりません(選択必修)

10

③の選択必修科目について（２）保育士養成課程履修要綱の記載（学生便覧より）

別表第2による教科目				本学における教科目の開設状況					備 考
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数			
						保必	保選	計	
保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定	15単位以上	2	社会保障論	講義		2	2	12単位以上 選択必修
保育の対象の理解に関する科目				子どもの発達論	講義		2	2	
				特別支援教育総論	講義		2	2	
				特別支援教育各論	講義		2	2	
				幼児教育評価論	講義		2	2	
				幼児理解及び教育相談の理論と方法	講義		2	2	
保育の内容・方法に関する科目				保育環境論	講義		2	2	
				障害児の支援の方法	講義		2	2	
				保育者のための音楽	演習		2	2	
				保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅱ	
保育実習Ⅲ									
保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅱ		演習	1	1	保育実習Ⅱ履修者必修	
			保育実習指導Ⅲ					保育実習Ⅲ履修者必修	
合 計		18単位以上		21単位（≧ 18単位）					

保育士資格を取得するためには、これら科目から6科目、12単位以上を必ず取得（選択必修）しなければなりません

保育士資格を取得するためには、どちらかを必ず取得しなければなりません（選択必修）

11

3. 再履修科目がある場合の注意

（１）他クラスの授業を受ける場合の手続きについて（再履修科目がある場合）

再履修する授業科目と自分のクラスの授業科目の時間割が重なる場合には、所定の手続きを行うことにより、他クラスの授業を受講できる場合があります。

他クラスの科目の受講を希望する場合は、学部教務委員に連絡・相談をしてください（3月中に連絡をください）。

※他クラスの科目を履修が認められるのは、原則として、「再履修をしなければならない科目」と「自分のクラスの科目」が重複する場合に限ります。

※各授業担当教員に他クラスで受講（他クラスでの履修登録）することの許可を得る必要があります。

※他クラスの授業の受講が必ず認められるわけではありません。

（２）クラス別科目を再履修する場合の優先順位について

○クラス別科目を再履修する場合は、以下のことに留意してください。

- ・専任教員担当と非常勤教員担当のクラスがある場合は、**専任教員担当クラスの授業を優先**してください。
- ・必ず事前に再履修の内容について**学部教務委員**に相談をしてください（3月中に連絡すること）。

13

（３）絵本論Ⅰ・Ⅱを履修する場合の注意事項

- ・絵本論Ⅰ・Ⅱについては必ず、**指定されているクラス（下記参照）で履修登録をする**ようにしてください。
- ・絵本論Ⅰ・Ⅱは科目の性質上、**公欠等でも補講代替ができない場合がありますので、出席管理に十分注意**してください。
- ・絵本論Ⅰ・Ⅱともに**抽選科目**であるため、**必ず受講できるわけではありません。**

【絵本論Ⅰ・Ⅱの履修の指定時間】

- ・ 2年生B・Cクラス 前期：火曜4限 後期：火曜4限
- ・ 2年生A・Dクラス 前期：火曜5限 後期：火曜5限

14

4. CAP制について

【大学の科目は、授業だけでなく予習・復習の時間を含めて行われています】

常葉大学では、多くの科目を履修して、各科目の学習時間を十分に取れなくなることを避けるために履修できる単位数を制限する「CAP制」が導入されています。



保育学部ではCAP制により「1年間に42単位」に履修が制限されています

◎ただし、「CAP制の適用を受けない科目」があります

※詳しくは学生便覧を参照してください

「CAP制の適用を受けない科目」の単位数は、履修登録時にポータルサイト上で自動計算されませんので注意してください

15

3. 履修登録の締め切り及び履修登録の確認について

(1) 履修登録等の期間について（期限厳守：余裕をもって登録しましょう）

・大学事務局（教務課）からの連絡をよく確認して、期限厳守で履修登録をしてください。

(2) 履修登録の確認について（詳細はポータル・資料を確認すること）

・教務課からの指示に従い、履修登録の確認を確実に行ってください。

※詳しくは、事務局（教務課等）からの指示に従ってください。

【履修登録期間】

3月27日(木) 9:00 ~ 3月30日(日) 23:59 ※在学生のみ
4月 3日(木) 9:00 ~ 4月 6日(日) 23:59 (1次抽選の登録期限)
4月 8日(火) 9:00 ~ 4月10日(木) 23:59 (2次抽選の登録期限)

【履修登録変更・確認期間（取下げを含む）】

4月14日(月) 9:00 ~ 4月20日(日) 23:59 (3次抽選の登録期限)

(メンテナンス時間)

各期間中 毎朝6:00 ~ 8:59 ※この時間は履修登録ができません。

期限厳守！

16

4. 履修について不明なことがある場合（メールでの問い合わせについて）

※履修登録に関する問い合わせをメールで行う場合には以下のことを守ってください

- 1) 件名に学籍番号と氏名を記入する
- 2) 文面には質問内容を簡潔に記入してください
- 3) 問い合わせ先に失礼のないように記入することを心がける
- 4) 早朝や夜間の連絡は避けること

【記入例】

件名： 20330000 氏名0000（件名欄に 学籍番号と氏名を入力）

本文： 00先生/教務課 0000様

お世話になっております。

保育学部0年の0000と申します。

この度は、・・・について質問があり、ご連絡させていただきました。

[要件を記入・・・・・・]

以上のことについて、ご教示をいただきますようよろしくお願いいたします。

学籍番号20330000 氏名0000

17

5. 幼児教育支援センターからの連絡

【幼児教育支援センターが応援する事業について】

・「幼児教育支援センターが応援する事業」に該当する活動を行う際に、申請をできる場合がありますので、各指導担当の先生を通して、幼児教育支援センターにご相談ください

18